令和4年度　性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究

調査結果

令和4年11月8日
内閣府男女共同参画局

目次

調査実施概要

【 調 査 目 的 】 アンコンシャス・バイアスについて、気づきの機会を提供し、理解を促すことでその解消を図る。

【 対 象 者 条 件 】 全国男女20代～60代

【 調 査 手 法 】 インターネットモニターに対するインターネット調査

【 回 収 数 】 10,906人

【 調 査 期 間 】 令和4年8月17日（水） ～ 8月24日（水）

【 サ ン プ ル 設 計 】 全国47都道府県を性別、年代（20代～60代）で分け、均等に回収する設計とした。
※本調査は人口構成比による抽出ではなく、性・年代・都道府県均等割付で抽出を行っており、日本全体を母集団とした代表性はない。

【 調 査 項 目 設 計 】 前回調査（令和3年度に実施）の測定項目（36項目）に、新規項目（５項目）を追加し、41項目を本調査の測定項目とした。

【 調 査 実 施 機 関 】 株式会社日経リサーチ

【 分 析 時 の 考 慮 】
- ✓ 性別「その他」を選択した回答者数は、70人（全体の0.6%）であり、全体の集計結果には、性別「その他」の回答者を含む。本調査では、男性と女性の意識や経験について分析することを目的としているため、図表等では、「その他」の回答者の表示は、省略している。
- ✓ サンプリングについて、前回調査は、全国を9地域に分け、地域ごとに性別、年代（20代～60代）を均等に回収する設計としたが、今回調査は、全国47都道府県の性別、年代（20代～60代）を均等に回収する設計へ変更している。
また、P.4に掲載のとおり、測定項目の追加（36項目→41項目）も行ったため、基本的に前回調査結果との比較は行わない。

設問設計の概要

無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）は、誰もが潜在的に持っている思い込み。

本調査では、家庭・コミュニティ領域と職場領域での性別役割、その他性別に基づく思い込みの41項目について、
回答者には、最初に自分の考えにあてはまるかどうか聞き、その後、性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験を聞いている。
41の測定項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階で聞いたところ、
本調査の**回答者全体の76.3%**が、**１つでも「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答**している。

一方で、**『アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）』という言葉の認知度は21.4%**に留まる。

※本調査結果では、『**「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が高い（又は低い）**』ことを『**「そう思う傾向」が強い（又は弱い）**』としている。

設問の構成（測定項目は次頁に掲載している）

性別役割意識	• 測定項目に対する自身の意識（回答肢：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階）
性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験	• 測定項目について、直接または間接的に性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験の有無 　• 【直接】直接言われたり聞いたりしたことがある 　• 【間接】直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある 　• 【メディアによる影響】テレビや雑誌、インターネットなどのメディアで見たことがある • 直接または間接的な経験があることについて、それを言ったり、感じさせた人
属性設問	• 基本属性（性、年代、職業等） • 成長過程での影響を分析するために、中学入学時点での居住地、地域のつながり、家族構成、親の働き方等を聞いている

測定項目

（全項目の男女別スコアは別添資料参照）※赤文字の項目は、今回調査で追加した項目

家庭・コミュニティ領域	職場領域	その他
家事・育児は女性がするべきだ	組織のリーダーは男性の方が向いている	女性は感情的になりやすい
男性が洗濯物を干すのはみっともない	大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	女性は論理的に考えられない
家を継ぐのは男性であるべきだ	事務作業などの簡単な仕事は女性がするべきだ	男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ	男性は人前で泣くべきではない
女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	女性には女性らしい感性があるものだ
結婚したら姓を変えるのは女性であるべきだ	男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない	男性より女性の方が思いやりがある
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い	女性はか弱い存在なので、守らなければならない
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	営業職は男性の仕事だ	
共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	
学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いている	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	
女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない	転勤は男性がするものだ	
男性であればいい大学を出て出世を目指すべきだ	男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ	
PTAには、女性が参加するべきだ	女性の上司には抵抗がある	
親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ	
自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ	女性社員の昇格や管理職への登用のための教育・訓練は必要ない	
実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	仕事で成功していても、結婚をしていない女性は何かが足りないと感じる	
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる	

回答者属性

回答者数：10,906

性別

男性	女性	その他
5,452	5,384	70
50.0	49.4	0.6

年齢

20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
697	1,360	994	1,350	899	1,251	1,099	1,066	1,316	874
6.4	12.5	9.1	12.4	8.2	11.5	10.1	9.8	12.1	8.0

上段：実数
下段：%

未既婚の別

法律婚	事実婚	パートナーと暮らしている	離別	死別	未婚
5,412	355	106	681	143	4,209
49.6	3.3	1.0	6.2	1.3	38.6

職業

正規雇用					非正規雇用				自営業・自由業	家業手伝い	農林漁業	内職	その他	学生	無職
	正規雇用計	企業にお勤め（正社員）	その他法人、団体にお勤め（正社員、正職員）	官公庁・地方公共団体にお勤め（正職員）		非正規雇用計	お勤め（嘱託、契約社員など）	お勤め（派遣社員、パート・アルバイト）							
	4,587	3,562	486	539		2,307	497	1,810	713	271	60	61	362	256	2,289
	42.1	32.7	4.5	4.9		21.2	4.6	16.6	6.5	2.5	0.6	0.6	3.3	2.3	21.0

現在の居住地（都道府県）

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
231	234	239	233	231	239	239	236	230	228	231	229	227	236	227	229
2.1	2.1	2.2	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1

石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
226	232	227	230	228	227	228	241	232	235	232	230	231	233	221	228
2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1

岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
230	226	233	236	235	232	240	235	233	233	238	233	230	234	238
2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.1	2.2	2.2	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1	2.2

性別役割意識（全体）

- 性別役割について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階で聞いた。
- 男性女性ともに上位に入った8項目のうち7項目は、男性の方が高い割合となった。
- 男性女性ともに「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」が一番高かった。その他男女差が大きく開いたのは、「男性は～べきだ」という次の3項目。

「デートや食事のお金は男性が負担すべきだ」　（男性34.0%、女性21.5%）
「男性は結婚して家庭をもって一人前だ」　（男性30.4%、女性17.9%）
「男性は人前で泣くべきではない」　（男性28.9%、女性17.6%）

性別役割意識

（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の合計）

男女両方で上位10位に入っている項目

男性　上位10項目　回答者数：5452　（%）

	項目	%
1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	48.7
2	女性には女性らしい感性があるものだ	45.7
3	女性は感情的になりやすい	35.3
4	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	34.0
5	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.8
6	女性はか弱い存在なので、守られなければならない	33.1
7	男性は結婚して家庭をもって一人前だ	30.4
8	男性は人前で泣くべきではない	28.9
9	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	28.6
10	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	28.4

女性　上位10項目　回答者数：5384　（%）

	項目	%
1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	44.9
2	女性には女性らしい感性があるものだ	43.1
3	女性は感情的になりやすい	37.0
4	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.2
5	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	27.2
6	女性はか弱い存在なので、守られなければならない	23.4
7	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	21.6
8	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	21.5
9	組織のリーダーは男性の方が向いている	20.9
9	大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	20.9

【参考】性別役割意識（全体）～今回／前回上位10項目比較～

● 今回調査はサンプル設計等を変更したため、前回調査と今回調査のスコア比較は基本的に行わないが、参考まで、前回調査の男女別の性別役割意識を確認したところ、「女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い」「女性はか弱い存在なので、守られなければならない」といった新規追加した項目が上位に入っている。
● 新規追加した測定項目が上位に入ったため、一部に順位変動はあったものの、概ね男女別の上位10項目は同じ傾向となっている。

性別役割意識

（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の合計）
※「－」は前回測定項目になし

	男性　上位10項目　回答者数：5452	(%)	(参考)前回順位
1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	48.7	2
2	女性には女性らしい感性があるものだ	45.7	1
3	女性は感情的になりやすい	35.3	4
4	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	34.0	3
5	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.8	5
6	女性はか弱い存在なので、守られなければならない	33.1	－
7	男性は結婚して家庭をもって一人前だ	30.4	7
8	男性は人前で泣くべきではない	28.9	6
9	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	28.6	－
10	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	28.4	8
11	家事・育児は女性がするべきだ	27.3	9
14	家を継ぐのは男性であるべきだ	25.4	10

	女性　上位10項目　回答者数：5384	(%)	(参考)前回順位
1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	44.9	2
2	女性には女性らしい感性があるものだ	43.1	1
3	女性は感情的になりやすい	37.0	3
4	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.2	4
5	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	27.2	－
6	女性はか弱い存在なので、守られなければならない	23.4	－
7	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	21.6	5
8	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	21.5	10
9	組織のリーダーは男性の方が向いている	20.9	8
9	大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	20.9	8
11	家事・育児は女性がするべきだ	20.7	7
12	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	20.3	6

性別役割意識（シーン別）

- 家庭・コミュニティシーン、職場シーンにおいて、新規追加項目で男女とも上位５項目に入った「女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い」「仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる」は女性に比べ男性の方が「そう思う傾向」が強い。
- 家庭・コミュニティシーンでは、前回調査と同様に、女性より男性の方が仕事と家事の分担に関して「そう思う傾向」が強い。
- 職場シーンでは、前回調査と同様に、男女とも１位の「育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきではない」が「そう思う傾向」が強い。

性別役割意識をシーン別に上位5項目を見たのが下表。
家庭・コミュニティシーンでは、男女とも5位以内に仕事と家事の分担に関する項目「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ」が入るが、2項目とも女性より男性の「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が高く、男性の方が仕事と家事の分担に関して、「そう思う傾向」が強い。
職場シーンでは、「お茶くみ」に関する項目も上位に入る。

性別役割意識 <シーン別>

（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の合計）

□ 男女両方で上位10位に入っている項目

家庭・コミュニティ

男性　上位５項目	(%)
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	48.7
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	34.0
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	30.4
女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	28.6
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	28.4

女性　上位5項目	(%)
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	44.9
女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	27.2
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	21.6
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	21.5
家事・育児は女性がするべきだ	20.7

職場

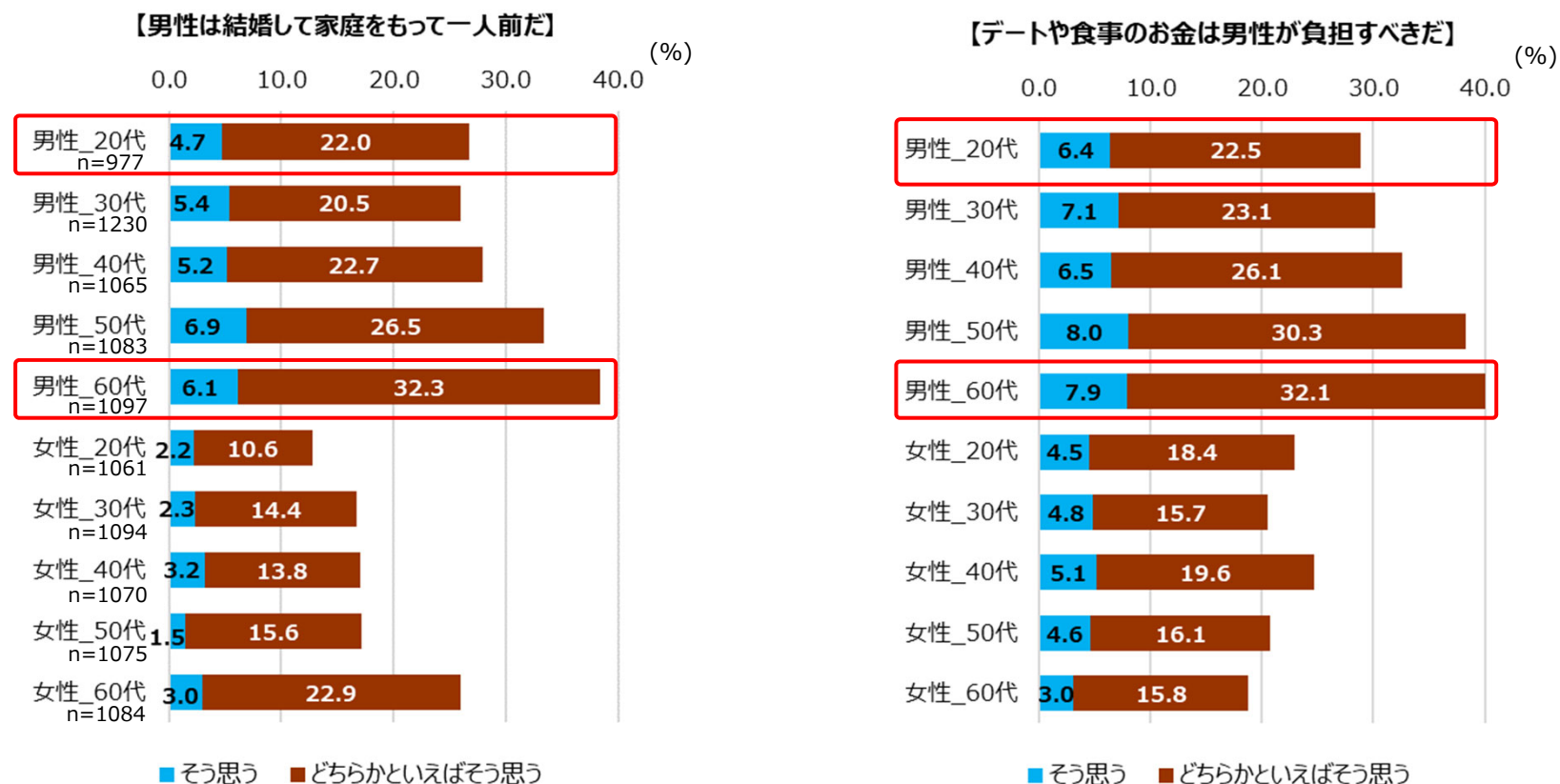
男性　上位5項目	(%)
育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.8
組織のリーダーは男性の方が向いている	26.1
受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	24.1
大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	23.1
仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる	22.9

女性　上位5項目	(%)
育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.2
組織のリーダーは男性の方が向いている	20.9
大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	20.9
受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	18.3
仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる	16.4

性別役割意識① <性・年代別・家庭>

● 「男性は結婚して家庭をもって一人前だ」「デートや食事のお金は男性が負担すべきだ」ともに、「そう思う傾向」が、いずれの年代でも男女間で大きな差があるが、男性間においても20代と60代で大きな差がみられる。

➤性別や年代間で「そう思う」又は「どちらかと思えばそう思う」と回答した割合で10ポイント以上差がある項目をピックアップしたのが下図。

性別役割意識 <性・年代別>

性別役割意識② ＜性・年代別・家庭＞

- 「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」は、「そう思う傾向」が、いずれの年代でも男女間で大きな差があるが、男性間においても20代と60代で大きな差がみられる。
- 「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ」ともに、女性は年代が高いほど「そう思う傾向」が強い。

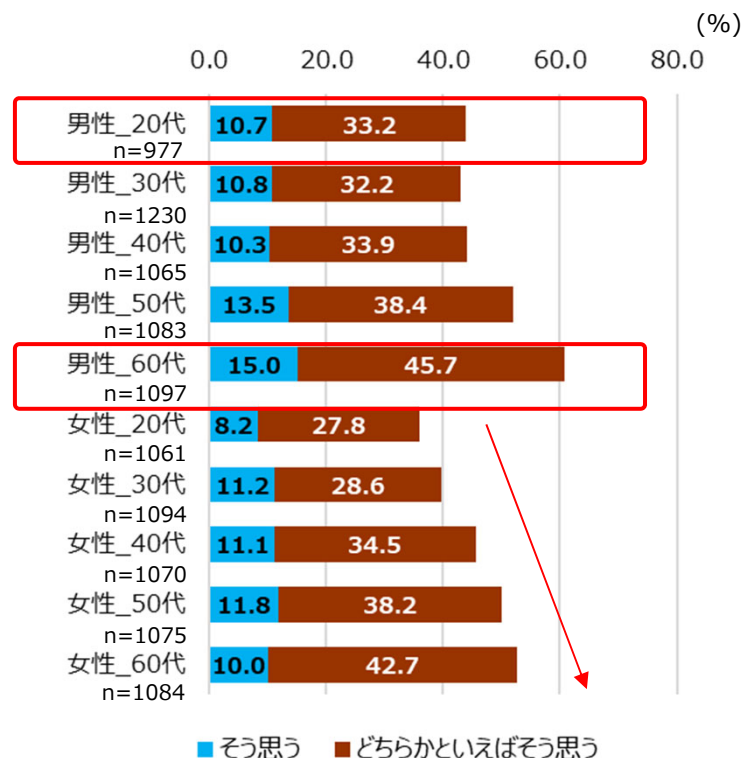
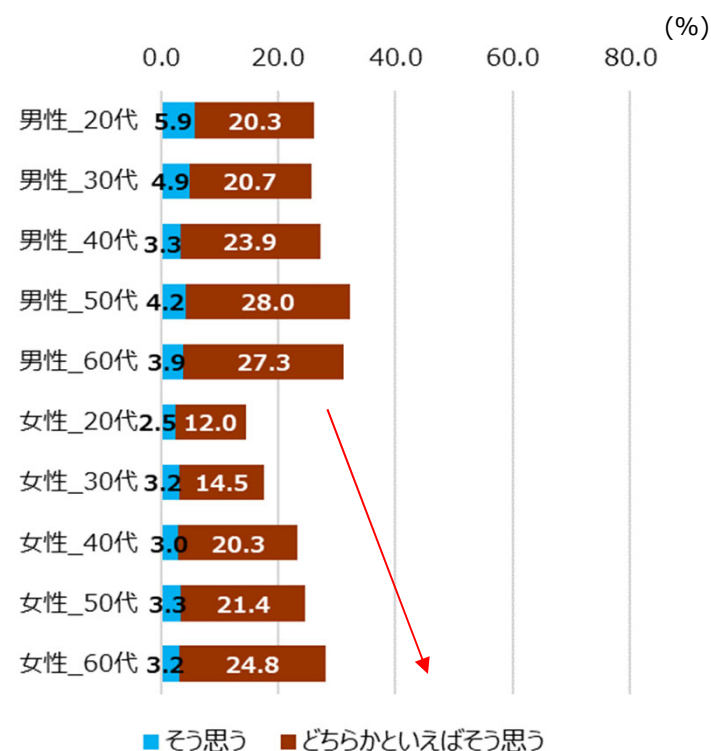
➤性別や年代間で、「そう思う」又は「どちらかと思えばそう思う」と回答した割合で10ポイント以上差がある項目をピックアップしたのが下図。

性別役割意識＜性・年代別＞

【男性は仕事をして家計を支えるべきだ】

(%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代 n=977	10.7	33.2
男性_30代 n=1230	10.8	32.2
男性_40代 n=1065	10.3	33.9
男性_50代 n=1083	13.5	38.4
男性_60代 n=1097	15.0	45.7
女性_20代 n=1061	8.2	27.8
女性_30代 n=1094	11.2	28.6
女性_40代 n=1070	11.1	34.5
女性_50代 n=1075	11.8	38.2
女性_60代 n=1084	10.0	42.7

■そう思う ■どちらかといえばそう思う

性別役割意識③ <性・年代別・職場>

- 職場の役割分担に関する項目で、特に「男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ」「同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ」について、女性より男性の方が「そう思う傾向」が強い。
- 「同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ」は、20-30代男性で「そう思う傾向」が強い。

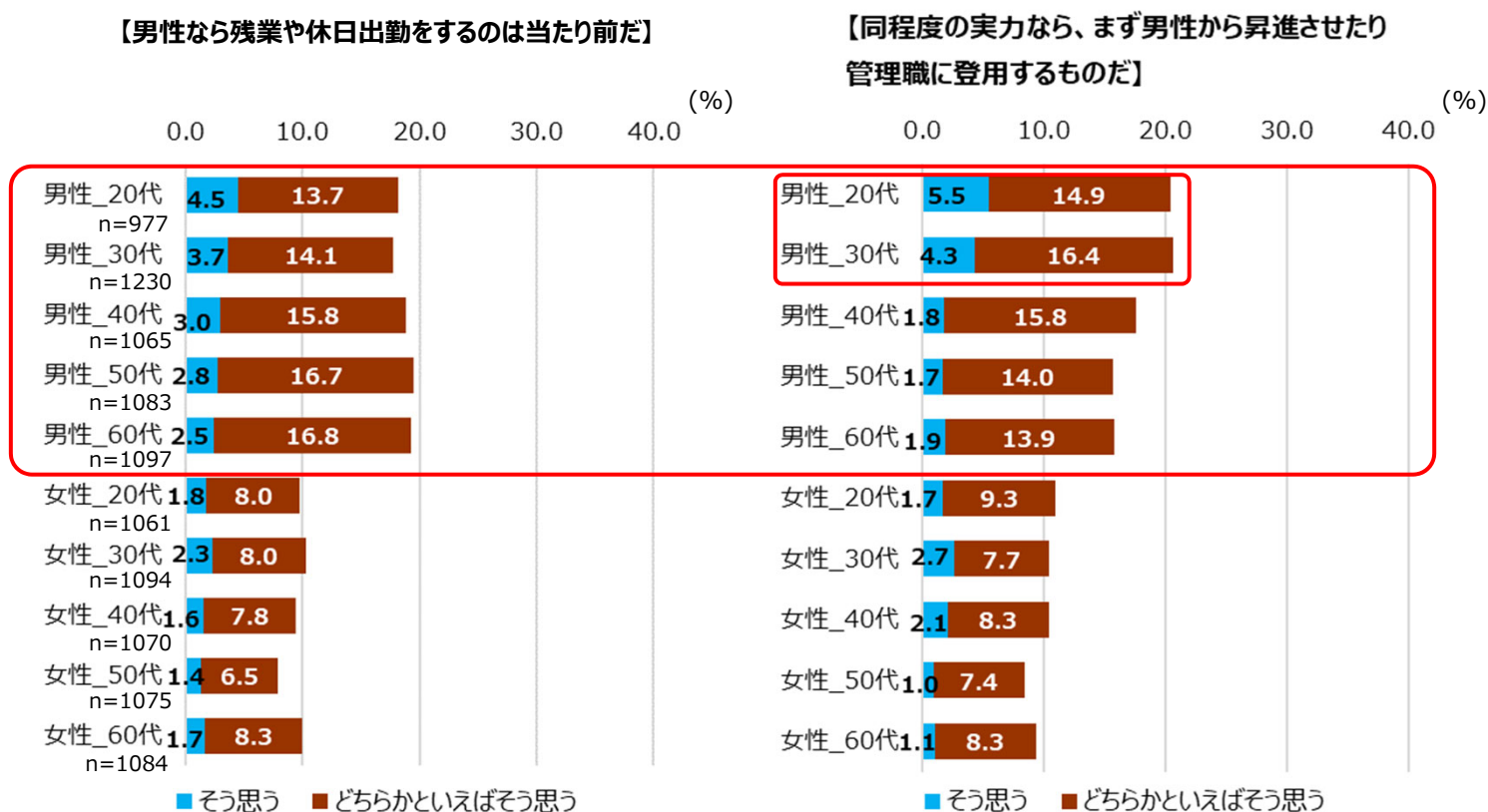
➤性別や年代間で、「そう思う」又は「どちらかと思えばそう思う」と回答した割合で10ポイント以上差がある項目をピックアップしたのが下図。

性別役割意識 <性・年代別>

【男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ】 (%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代 n=977	4.5	13.7
男性_30代 n=1230	3.7	14.1
男性_40代 n=1065	3.0	15.8
男性_50代 n=1083	2.8	16.7
男性_60代 n=1097	2.5	16.8
女性_20代 n=1061	1.8	8.0
女性_30代 n=1094	2.3	8.0
女性_40代 n=1070	1.6	7.8
女性_50代 n=1075	1.4	6.5
女性_60代 n=1084	1.7	8.3

【同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ】 (%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代	5.5	14.9
男性_30代	4.3	16.4
男性_40代	1.8	15.8
男性_50代	1.7	14.0
男性_60代	1.9	13.9
女性_20代	1.7	9.3
女性_30代	2.7	7.7
女性_40代	2.1	8.3
女性_50代	1.0	7.4
女性_60代	1.1	8.3

性別役割意識⑤ <性・年代別・新規追加項目>

● 今回調査で、新規追加した5項目について、「女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い」「女性はか弱い存在なので、守られなければならない」（次ページ参照）は、「そう思う傾向」が男女各年代で20～30%と一定数みられる。

➤性別や年代間で、「そう思う」又は「どちらかと思えばそう思う」と回答した割合で10ポイント以上差がある項目をピックアップしたのが下図。

性別役割意識 <性・年代別>

【女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い】

(%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代 n=977	5.9	22.7
男性_30代 n=1230	4.5	22.1
男性_40代 n=1065	3.7	23.3
男性_50代 n=1083	3.0	26.0
男性_60代 n=1097	2.8	29.0
女性_20代 n=1061	5.7	20.6
女性_30代 n=1094	5.4	22.9
女性_40代 n=1070	4.4	23.1
女性_50代 n=1075	3.6	23.8
女性_60代 n=1084	3.2	23.4

【仕事で成功していても、結婚をしていない女性は何かが足りないと感じる】

(%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代	4.8	17.2
男性_30代	5.0	16.3
男性_40代	3.0	17.0
男性_50代	3.6	16.3
男性_60代	1.6	17.3
女性_20代	1.6	12.1
女性_30代	3.3	13.2
女性_40代	3.0	11.7
女性_50代	2.1	12.6
女性_60代	1.8	13.1

【仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる】

(%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代	4.9	16.8
男性_30代	5.5	17.6
男性_40代	3.8	19.2
男性_50代	4.2	19.5
男性_60代	2.8	20.1
女性_20代	1.6	14.1
女性_30代	3.7	13.5
女性_40代	3.0	13.3
女性_50代	2.3	13.3
女性_60代	2.2	14.9

性別役割意識⑥ <性・年代別・新規追加項目>

- 「男性より女性の方が思いやりがある」は、女性では年代が高くなるほど、「そう思う傾向」が弱い。
- 「女性はか弱い存在なので、守られなければならない」は、女性に好意的ではあるものの、女性の役割を固定化することにつながる考え方であり、男性50-60代で「そう思う傾向」が強い。

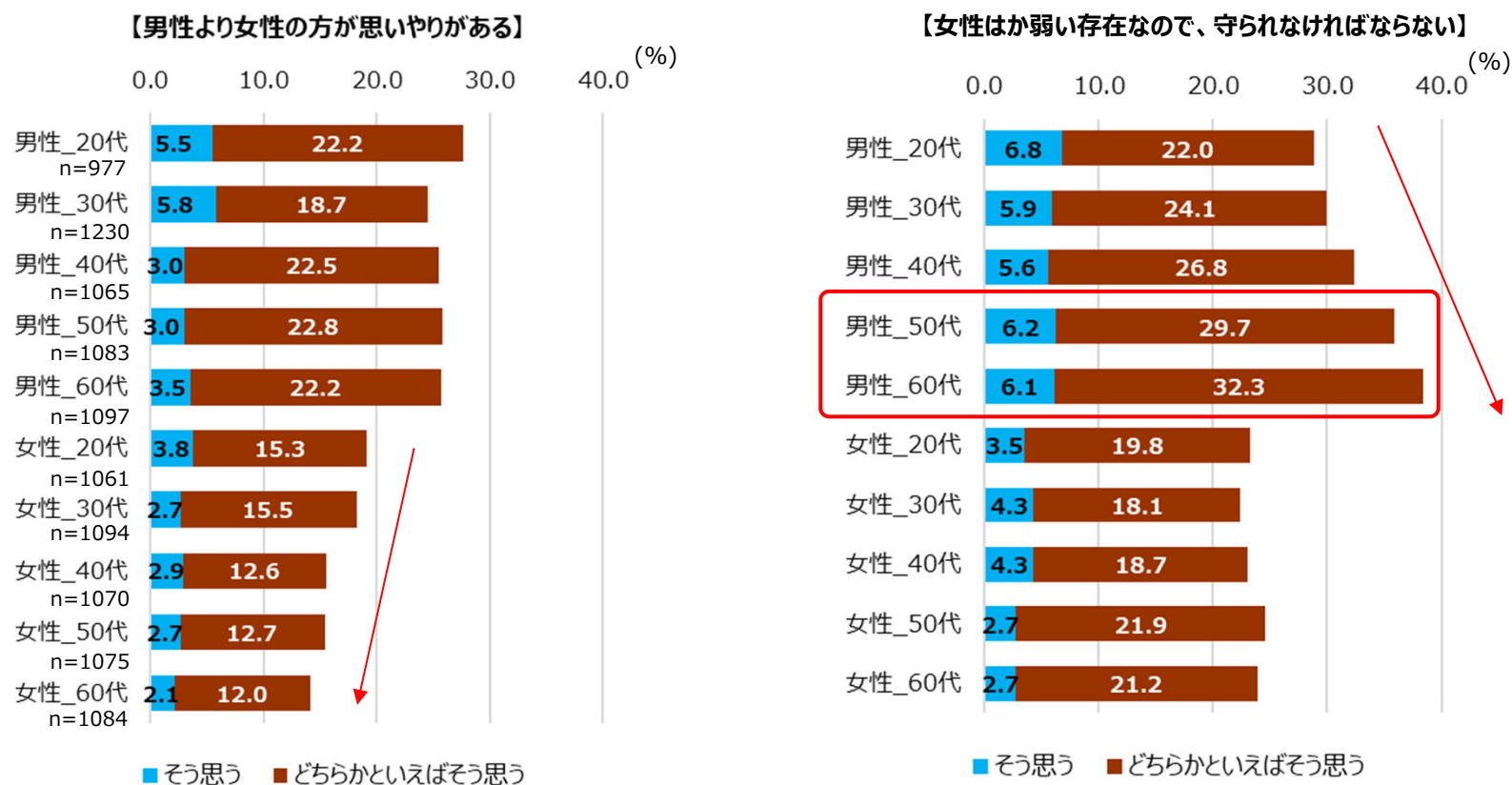
➤性別や年代間で、「そう思う」又は「どちらかと思えばそう思う」と回答した割合で10ポイント以上差がある項目をピックアップしたのが下図。

性別役割意識 <性・年代別>

【男性より女性の方が思いやりがある】 (%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代 n=977	5.5	22.2
男性_30代 n=1230	5.8	18.7
男性_40代 n=1065	3.0	22.5
男性_50代 n=1083	3.0	22.8
男性_60代 n=1097	3.5	22.2
女性_20代 n=1061	3.8	15.3
女性_30代 n=1094	2.7	15.5
女性_40代 n=1070	2.9	12.6
女性_50代 n=1075	2.7	12.7
女性_60代 n=1084	2.1	12.0

【女性はか弱い存在なので、守られなければならない】 (%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代	6.8	22.0
男性_30代	5.9	24.1
男性_40代	5.6	26.8
男性_50代	6.2	29.7
男性_60代	6.1	32.3
女性_20代	3.5	19.8
女性_30代	4.3	18.1
女性_40代	4.3	18.7
女性_50代	2.7	21.9
女性_60代	2.7	21.2

性別役割意識⑦ <役職別・職場>

● 職場シーンについて、役職別でみると、役職が高いほど、「そう思う傾向」が強い。
● 役員・部長（代理）クラスは、他の階層よりも「そう思う傾向」が強くみられる。特に20~40代の若い世代の役員・部長（代理）クラスで「そう思う傾向」が強い。

性別役割意識 <役職別>

【男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ】 (%)

年代	役職	n	そう思う	どちらかといえばそう思う
20～40代	役員・部長(代理)クラス	n=132	5.3	18.9
20～40代	課長(代理)・係長クラス	n=464	4.1	17.2
20～40代	一般社員・その他	n=2562	2.5	12.9
50～60代	役員・部長(代理)クラス	n=245	2.0	18.8
50～60代	課長(代理)・係長クラス	n=373	2.4	18.5
50～60代	一般社員・その他	n=811	1.7	13.4

【同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ】 (%)

年代	役職	そう思う	どちらかといえばそう思う
20～40代	役員・部長(代理)クラス	6.1	15.9
20～40代	課長(代理)・係長クラス	3.2	17.2
20～40代	一般社員・その他	2.7	13.8
50～60代	役員・部長(代理)クラス	2.0	15.9
50～60代	課長(代理)・係長クラス	1.3	15.3
50～60代	一般社員・その他	1.2	11.5

性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験（全体）

- 性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験について、直接言われたあるいは言動や態度から感じた「経験」は、男性より女性の方が、性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験があると回答している割合が高い。
- 上位に入っている項目をみると、男性は主に、「家庭・コミュニティ」項目であるのに対し、女性は「家庭・コミュニティ」「職場」「その他」と多岐にわたっている。
- 性別役割を言ったり、言動を感じさせた人は、男性に比べ女性の方がより多くの人から感じさせられた経験があることがうかがえる。

「直接言われた」あるいは「言動や態度から感じた」経験

□ 男女両方で上位10位に入っている項目

男性　上位10項目 (%)

	項目	分類	%
1	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	家庭	29.4
2	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	家庭	29.1
3	男性は結婚して家庭をもって一人前だ	家庭	28.7
4	家事・育児は女性がするべきだ	家庭	26.9
5	女性は感情的になりやすい	その他	26.6
6	家を継ぐのは男性であるべきだ	家庭	26.4
7	男性は人前で泣くべきではない	その他	25.7
8	女性はか弱い存在なので、守られなければならない	その他	25.1
9	女性には女性らしい感性があるものだ	その他	24.6
10	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	職場	23.7

女性　上位10項目 (%)

	項目	分類	%
1	家事・育児は女性がするべきだ	家庭	40.8
2	女性は感情的になりやすい	その他	36.2
3	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	職場	34.9
4	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	家庭	34.7
5	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	家庭	34.6
6	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	職場	33.4
7	家を継ぐのは男性であるべきだ	家庭	32.9
8	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	家庭	32.5
9	男性は結婚して家庭をもって一人前だ	家庭	31.7
10	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	家庭	31.1

性別役割を言ったり、言動を感じさせた人

男性		41項目中
父親	1位にあげられた項目数	37項目
男性の知人・友人	2位にあげられた項目数	30項目
母親	3位にあげられた項目数	15項目
男性の職場の上司	3位にあげられた項目数	11項目

性別役割を言ったり、言動を感じさせた人

女性		41項目中
男性の職場の上司	1位にあげられた項目数	13項目
母親	1位にあげられた項目数	10項目
	3位にあげられた項目数	8項目
父親	2位にあげられた項目数	11項目
	3位にあげられた項目数	8項目
男性の親戚	2位にあげられた項目数	11項目
配偶者・パートナー	3位にあげられた項目数	9項目

性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験① <性・年代別>

- 男性よりも女性、かつ女性でも年代が高いほど、経験を受けた割合が高い。
- 男性では、60代がその他の年代と比較して高い。

➤性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた（「直接言われた」あるいは「言動や態度から感じた」）経験について、男女間で10ポイント以上差がある項目をピックアップしたのが下図

「直接言われた」あるいは「言動や態度から感じた」経験 <性・年代別>

(数字は%)

	家事・育児は女性がするべきだ	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	女性は感情的になりやすい
男性_20代	21.7	17.1	17.5	16.1	19.4	16.4	21.8
男性_30代	21.7	18.4	18.6	15.4	18.7	16.7	22.3
男性_40代	26.9	19.2	21.2	16.8	21.0	20.2	24.8
男性_50代	27.9	22.7	24.6	20.5	25.8	22.7	28.2
男性_60代	36.6	28.7	30.7	26.6	33.8	31.7	35.7

	家事・育児は女性がするべきだ	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	女性は感情的になりやすい
女性_20代	29.2	22.5	22.8	18.9	22.7	21.8	26.0
女性_30代	34.6	27.0	27.3	22.2	28.7	26.7	32.4
女性_40代	40.6	30.7	33.0	28.3	33.4	31.0	33.2
女性_50代	47.3	37.9	41.7	35.2	41.7	40.3	42.3
女性_60代	51.9	44.5	48.7	43.3	47.9	47.0	47.0

男性20代 n=977
男性30代 n=1230
男性40代 n=1065
男性50代 n=1083
男性60代 n=1097
女性20代 n=1061
女性30代 n=1094
女性40代 n=1070
女性50代 n=1075
女性60代 n=1084

性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験② <性・年代別>

「直接言われた」あるいは「言動や態度から感じた」経験 <性・年代別>

(数字は%)		家事・育児は女性がするべきだ	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	女性は感情的になりやすい
男性_20代	n=977	21.7	17.1	17.5	16.1	19.4	16.4	21.8
男性_30代	n=1230	21.7	18.4	18.6	15.4	18.7	16.7	22.3
男性_40代	n=1065	26.9	19.2	21.2	16.8	21.0	20.2	24.8
男性_50代	n=1083	27.9	22.7	24.6	20.5	25.8	22.7	28.2
男性_60代	n=1097	36.6	28.7	30.7	26.6	33.8	31.7	35.7
女性_20代	n=1061	29.2	22.5	22.8	18.9	22.7	21.8	26.0
女性_30代	n=1094	34.6	27.0	27.3	22.2	28.7	26.7	32.4
女性_40代	n=1070	40.6	30.7	33.0	28.3	33.4	31.0	33.2
女性_50代	n=1075	47.3	37.9	41.7	35.2	41.7	40.3	42.3
女性_60代	n=1084	51.9	44.5	48.7	43.3	47.9	47.0	47.0

性別役割経験～自由回答より～① <家庭_測定項目>

測定項目	自由回答	性・年代
家事・育児は女性がするべきだ	仕事探しの時期について、子どもの育児や家庭を優先させたほうが良いと実母や義母から言われた。偏見ではないと思うが、夫は育児の場面で話にも出てこなかったので、基本的には家事・育児は仕事をしても女性がしなければいけない事だという印象を受けた。	女性_30代
男性が洗濯物を干すのはみっともない	夫が洗濯物を外に干していたら、通りかかる車の人から見られるとおかしいからと言われた。	女性_40代
	近所の男性は、「男が洗濯物を干すのだけはみるにたえない。やめたらいいのに」といっていた。	女性_60代
家を継ぐのは男性であるべきだ	家を継ぐのは男と父親から言われた。	男性_30代
	実家を継ぐのは長男だというのを妹に言われた。	男性_60代
	長男だから家を継ぐという考え方を持っている人が身近にいます。	女性_20代
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	職場の先輩に男なら家庭をもって一人前だと言われた。	男性_30代
	親戚一同から男は嫁を貰って一人前と何回も言われた。	男性_50代
結婚したら姓を変えるのは女性であるべきだ	結婚して、夫に私の名字にしてもらったが、友人から届いた年賀状の私の宛名が、夫の旧姓になっていた。 普通は夫側の姓を名乗るので、てっきりそうだと思ったと言われた。	女性_30代
	実際に娘が結婚する時に相手の親から娘が姓を変えるべきだと言われていた。当人同士話し合って娘の旦那が変えることに決めていたのに相手の親が譲ろうとしなかった。	女性_50代
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	今年、第一子が産まれて育児休暇を取ろうと妻に相談したところ、「男性は、育児休暇は取らずに仕事して稼いできてね」と言われた事。	男性_30代
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	共働きで働いている者が、男性が主夫を行うとの事で退職手続きにきたが、男性が仕事をして養うべきと、なかなか受理しなかった。	男性_60代
共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	子どもが体調を崩した時、常に看病をしないといけない。夫からはお母さんが看病してくれる方が子どももうれしいから、と協力はあまり得られない。	女性_30代

性別役割経験～自由回答より～② <家庭_測定項目>

測定項目	自由回答	性・年代
PTAには、女性が参加するべきだ	女性がPTAの集まりに参加するのは当然と言われた。別に男性が参加してもいいのでは？と思った。	女性_40代
親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	実家で、お盆の配膳の手伝いをしたら、親戚に、それは、男のやることじゃないといわれた。	男性_40代
	親戚の集まりで、配膳などは女性がやるという習慣がある。	女性_20代
	自治会の活動の打ち上げで、男性は飲んで騒いでいるのに、料理は奥さんたちが作り配膳し、酒の用意をし、寒くても我慢を強いられる。	女性_60代
自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ	町内会の役員から男なら役員を引きうけてくれと言われた。	男性_60代
	町内会の集まりで重要な行事の決定をするとき、町内の男性の意見が優位に立ってあまり女性の意見を聞いてもらえなかった。	女性_60代
実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	義母が私に介護してもらうと言った時。	女性_20代
	介護は嫁がするものだと配偶者の親が兄弟から言われた。	女性_40代
	姑から介護は長男の嫁だけがするものだといわれた。隣に次男夫婦が親に買ってもらった家に住んでいるが、介護は関係ないと。	女性_50代
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	男はデートでおごるのが当たり前。	男性_30代
	結婚相談所で男性が女性と食事するときは代金を奢るべきと言われた。	男性_40代
	初デートの男なのに奢られなかった!と女性の知人がいっていた。	女性_20代

性別役割経験～自由回答より～③ <職場_測定項目>

測定項目	自由回答	性・年代
組織のリーダーは男性の方が向いている	仕事の開発グループのリーダーについて、同僚の女性の方が優秀なのに、男性だからという理由で私がなったこと。	男性_40代
	チームリーダーはやっぱり男性の方が理性的なので、女性よりは男性の方がいいって会社の人の話を聞きました。	女性_20代
	同じ仕事内容・同じ能力なのにキャリアが上であっても、キャリアの浅い男性が部署のリーダーになって給料が増えた。	女性_50代
大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	取引先との商談の際に、実際は女性の私が責任者として動いていたにも関わらず、表立って対応したのは男性社員だった。その場では明らかに「アシスタント」として扱われた。	女性_50代
職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ	仕事中にサポート業務は女性に任せるように言われた。	男性_30代
育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	女性だから子供の面倒を見なければいけない。実際育児をするのは女性が中心であることが多く、男性のほうが稼いでいる家庭が多いと思う。育児によって短時間勤務になるのであれば、仕事の内容を担当可能なものにしなければいけない。と言われた。	女性_30代
男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない	育児休暇を取得中ですが、男性が休んで何が出来るのか的な感じにはなりました！ 法律のおかげで取得はできましたが、復帰が不安になるままになってます！	男性_30代
	職場にて、男性職員が育児休暇を取ることについて反対されていたのを聞いたことがある。	女性_20代
	出産を控えていますが、夫の会社では育児休業が取りづらいです。取るなとは言わないが、その間、お前の仕事どうするの？戻る場所ないよ？やる気ないの？お前そんなんだから仕事できないんだよ。家のことは嫁さんがするだろ？…などなど。実質的に取れない。	女性_30代
仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い	男性なのに育児休暇取るのかと嫌な雰囲気を出していた。	男性_40代

性別役割経験～自由回答より～④ <職場_測定項目>

測定項目	自由回答	性・年代
営業職は男性の仕事だ	男性は事務職ではなく営業職を受けるべきと職業安定所で言われた。	男性_30代
受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	職場の人がお茶出しは女性がするものだと言っていた。	男性_30代
	人手が少ないタイミングで来客に対し私（男性）がお茶を出したところ、お茶を出すのは女性のほうが感じが良いと上司に言われたことがある。	男性_40代
	職場に来客があった際にお茶だしは女性から貰った方が嬉しいから出してと言われた。	女性_20代
職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	職場での、お茶くみや配膳は女性がした方がいいと会社の上司から言われたことがある。	女性_30代
転勤は男性がするものだ	就職活動の面接で、男性は結婚の有無にかかわらず、稼がなくてはならないから、転勤を希望する社員は歓迎すると面接官に言われました。	男性_20代
男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ	男性職員は稼がないといけないので休日出勤するように上司に言われた。	男性_20代
	会社の上司から、休日出勤は仕事がおくれているのなら、男なら休みであろうと、仕事をすべきであると暴言を吐かれた。女性には、休日出勤などはやらせられないから、当然男がカバーすべきであると言われた。	男性_60代
同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ	上司に、女性の同僚の昇進を希望したところ、特に理由もなく同年代の男性上司を優先すると伝えられた。	男性_40代
	職場で、男性であるという理由だけで同期が昇進し、自分だけでなく、優秀な女性の先輩の上司より立場が上になった。	女性_30代
	男性は結婚してもここで仕事を継続する可能性が高いから、能力が劣っていても男性を優先に昇進させる。	女性_40代
仕事で成功していても、結婚をしていない女性は何かが足りないと感じる	結婚している職場の同僚から、「あなたは結婚していないから、考え方が偏っている、自分勝手」と言われたことがある。	女性_50代
仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる	その年迄結婚してないのは欠陥がある。	男性_50代

性別役割経験～自由回答より～⑤ <その他_測定項目>

測定項目	自由回答	性・年代
女性は感情的になりやすい	女性だから感情的になりやすいと前職の上司が言った。	男性_40代
	元パートナーから、すぐ感情的になる、すぐ泣くから嫌。そうされると気分が悪いというようなことを言われた。	女性_20代
	ミスをした男性を注意したら女性はすぐ感情的になるよねと逆切れされた。	女性_20代
	論理的に話そうとしても感情的だと配偶者から馬鹿にされた。	女性_60代
女性は論理的に考えられない	配偶者との会話で。私の話すことが論理的でないと一方的に決めつける態度をしばしば取られた。彼は女性の上司に対してもそのような感想を述べることがある。	女性_40代
男性は人前で泣くべきではない	仕事のミスを注意された際に泣いてしまい、男は泣くなと言われた。	男性_20代
	職場の上司が、仕事の失敗をして泣いていた同僚を男は泣くなと何度も怒っていた。	男性_30代
女性には女性らしい感性があるものだ	仕事で「女性らしい感性で考えて欲しい」と言われた。	女性_20代
男性より女性の方が思いやりがある	職場の上司から、勤務態度について女性だから思いやりを持って接しなさいと言われた。男性職員も同じ勤務態度なのに、理不尽な思いがした。	女性_50代

地域における性別役割の影響① ＜地域間の移動者別にみる地域特徴＞

- 女性の「地方→東京圏」に移動した者の中学入学時居住していた地域の特徴としては、「地元では住民間のつながりが強かった」経験の割合が高い。
- 「地方→地方（移動なし）」でも、「過去移動意向あり」と回答した者は、「過去移動意向なし」に比べ「地元の集まりでお茶入れや準備などは女性がしていた」「地元では世間体を大事にする人が多かった」といった項目での経験の割合が特に高い。
- 男女比較では、「地方→東京圏」に移動した者で「地元では住民間のつながりが強かった」や「地元の集まりでお茶入れや準備などは女性がしていた」、「地方→地方（移動なし）」で「過去移動意向あり」と回答した者では、「地元の集まりでお茶入れや準備などは女性がしていた」「地元で就職した女性は結婚・出産で仕事を辞めることが多かった」「地元では世間体を大事にする人が多かった」の項目で女性の方が特に経験の割合が高い。

性別役割の経験 ＜中学入学時居住地域の特徴＞

(%)

凡例：男性_地方→東京圏／女性_地方→東京圏／男性_地方→地方（移動なし）過去移動意向あり／女性_地方→地方（移動なし）過去移動意向あり／男性_地方→地方（移動なし）過去移動意向なし／女性_地方→地方（移動なし）過去移動意向なし

「あてはまる」のスコア（%）

	回答者数	地元の集まりでお茶入れや準備などは女性がしていた	地元では女性が表に出るべきでないという雰囲気があった	地元の高校を卒業した女性は大学に進学せず就職することが多かった	地元で就職した女性は結婚・出産で仕事を辞めることが多かった	地元では住民間のつながりが強かった	地元では世間体を大事にする人が多かった	地元では空気を読まないとコミュニティから排除される雰囲気があった	地元では優秀な人、自分の意見をはっきり言う人を良く思わない(出る杭を打つ)人が多かった	地元では年上を敬わないといけない意識が強かった
男性_地方→東京圏	(n=103)	16.5	6.8	5.8	8.7	12.6	14.6	7.8	5.8	13.6
男性_地方→地方（移動なし）過去移動意向あり	(n=484)	22.9	7.4	4.5	6.2	11.2	12.8	7.6	6.6	12.6
男性_地方→地方（移動なし）過去移動意向なし	(n=2756)	18.5	5.5	4.1	6.5	9.5	10.4	5.7	5.0	9.1
女性_地方→東京圏	(n=102)	29.4	6.9	8.8	12.7	27.5	19.6	9.8	6.9	11.8
女性_地方→地方（移動なし）過去移動意向あり	(n=645)	44.5	14.0	11.8	18.6	19.4	25.1	13.3	13.0	20.2
女性_地方→地方（移動なし）過去移動意向なし	(n=2463)	30.2	9.7	8.4	12.1	14.0	16.5	9.2	8.4	13.2

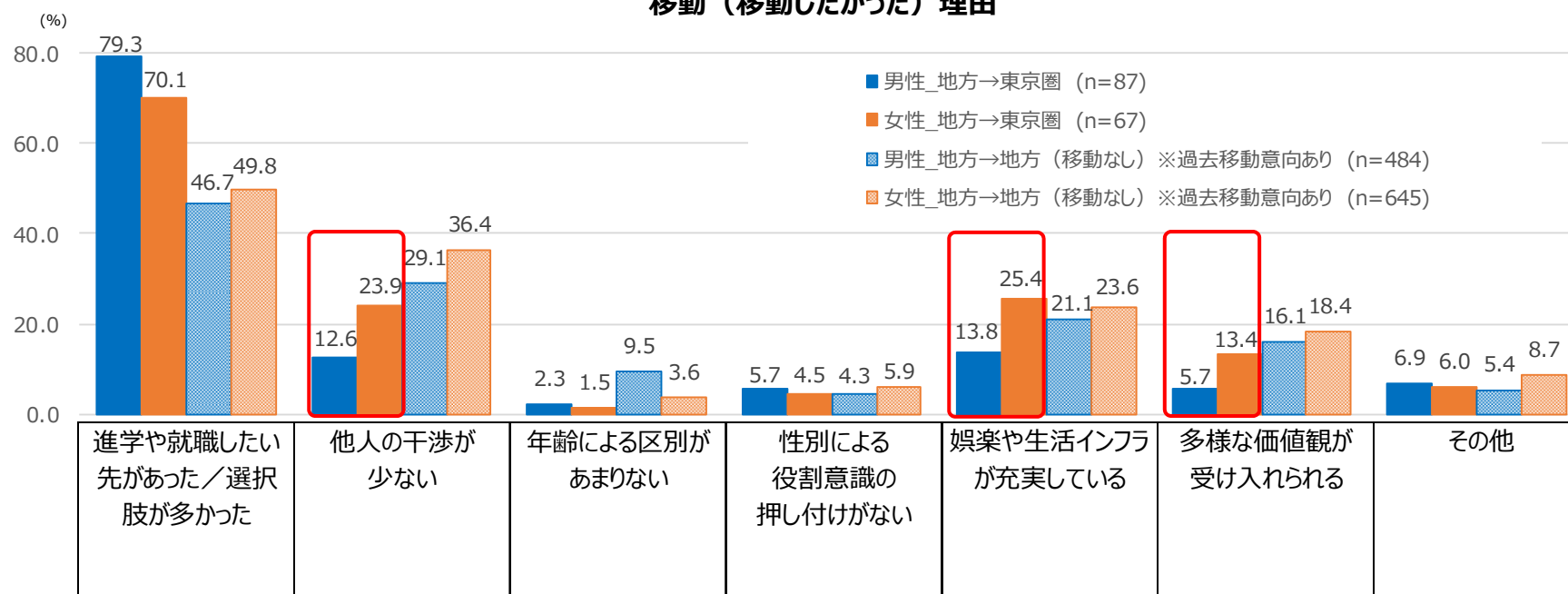
〔移動者の定義について〕

※「地方→東京圏」「地方→地方（移動なし）」・・・中学入学時および現在住んでいる都道府県で、"東京圏"は埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、"地方"は東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）のほか、愛知県、大阪府、福岡県を除き集計。

※「地方→地方（移動なし）」は、中学入学時と現在住んでいる都道府県が同じ人を集計。

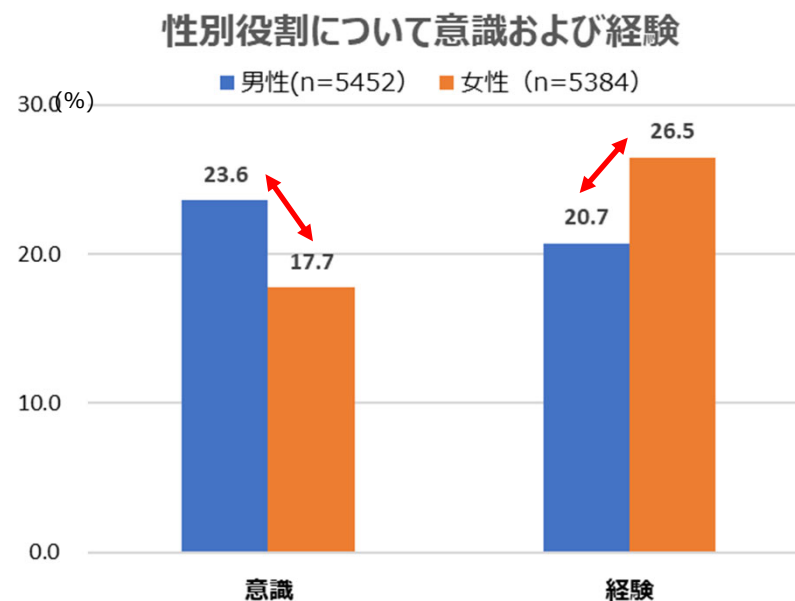
地域における性別役割の影響② <地域間の移動者別にみる移動理由>

- 移動（移動したかった）理由として、「年齢による区別があまりない」「性別による役割意識の押し付けがない」は、男女とも少ない。
- 「地方→東京圏」に移動した、かつ、進学あるいは就職で移動経験がある者の移動理由のなかで、男性より女性で高いものは、「娯楽や生活インフラが充実している」とともに「他人の干渉が少ない」「多様な価値観が受け入れられる」となっている。
- 「地方→地方（移動なし）」で「過去移動意向あり」の層の女性では、「進学や就職したい先があった／選択肢が多かった」に次いで、「他人の干渉が少ない」も4割近くあがっている。

〔移動者の定義について〕

※「地方→東京圏」「地方→地方（移動なし）」・・・中学入学時および現在住んでいる都道府県で、“東京圏”は埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、“地方”は東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）のほか、愛知県、大阪府、福岡県を除き集計。

※「地方→地方（移動なし）」は、中学入学時と現在住んでいる都道府県が同じ人を集計。

性別役割意識・経験① <男女差でみえるアンコンシャス・バイアス>

- 全項目平均では、性別役割の「意識」は男性が強い一方で、直接言われた・言動や態度から感じた「経験」は女性のほうが多い。
- 男性は女性と比べて、性別に基づく役割を直接言われた、あるいは言動や態度で間接的に接した「経験」は少なく、伝統的な役割観に自身がとらわれていることに気づいていない可能性がうかがえる。

意識：測定の41項目について、各項目「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の回答率の41項目平均（%）を男女別に算出したもの
経験：性別に基づく役割を「直接言われた」あるいは「言動や態度から感じた」経験の回答率の41項目平均（%）を男女別に算出したもの

性別役割意識・経験② ＜結婚に対する価値観の相違＞

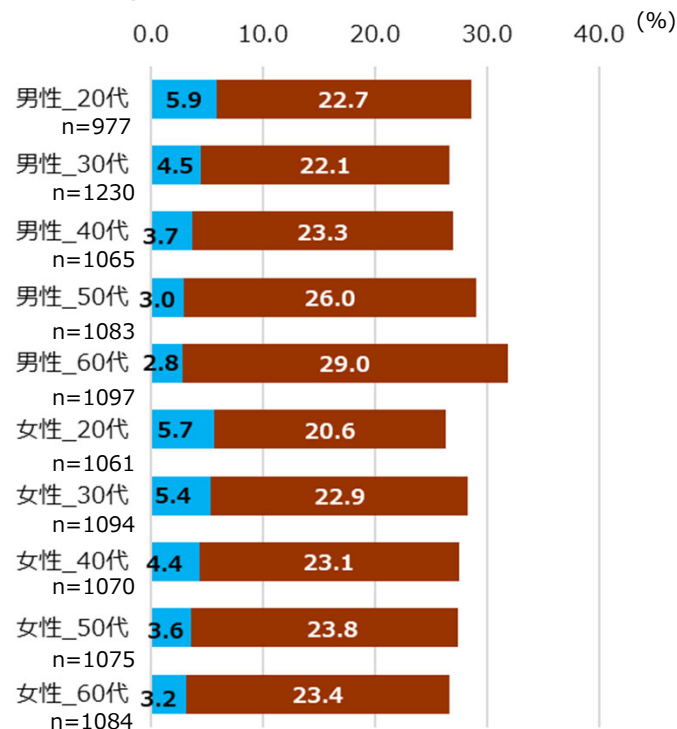
- 「女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い」は、性年代別で大きな差はないが、いずれの層も一定数みられる。
- 直接言われたあるいは言動や態度から感じた「経験」では、男性より女性の方が多く、女性は年代が高くなるほどそう感じさせられた割合が高い。また、女性50-60代で特に多い。
- 直接または間接的にそう感じさせた人として、女性は「母親」が１位で、次いで「父親」となっており、同性の知人・友人や親戚が上位に入っている。

➤新規追加項目である「女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い」について、性別役割意識・経験についてみたのが下図。

■**意識** （そう思う＋どちらかといえばそう思う）

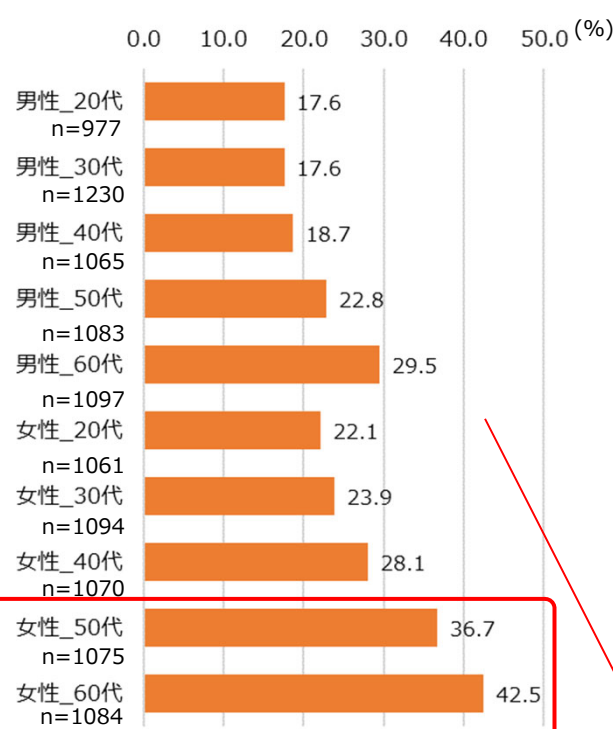
【女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い】

(%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代 n=977	5.9	22.7
男性_30代 n=1230	4.5	22.1
男性_40代 n=1065	3.7	23.3
男性_50代 n=1083	3.0	26.0
男性_60代 n=1097	2.8	29.0
女性_20代 n=1061	5.7	20.6
女性_30代 n=1094	5.4	22.9
女性_40代 n=1070	4.4	23.1
女性_50代 n=1075	3.6	23.8
女性_60代 n=1084	3.2	23.4

■そう思う ■どちらかといえばそう思う

■**経験**（直接or間接的）

(%)

	経験
男性_20代 n=977	17.6
男性_30代 n=1230	17.6
男性_40代 n=1065	18.7
男性_50代 n=1083	22.8
男性_60代 n=1097	29.5
女性_20代 n=1061	22.1
女性_30代 n=1094	23.9
女性_40代 n=1070	28.1
女性_50代 n=1075	36.7
女性_60代 n=1084	42.5

■**性別役割を言ったり、言動を感じさせた人**
（直接or間接的）

男性	
1位	父親
2位	母親
3位	男性の知人・友人
4位	配偶者・パートナー
5位	女性の知人・友人

女性	
1位	母親
2位	父親
3位	女性の知人・友人
4位	女性の親戚
5位	男性の親戚

性別役割意識・経験～自由回答より～ <結婚に対する価値観の相違>

「女性は結婚によって、経済的に安定を得るほうが良い」<エピソード（自由回答）>

感じさせた人	自由回答	性・年代
父親	「女性は、確りした男性と一緒になる事が安定した生活が得られる」要因の一つでもあると話す大正生まれの父。当時の教育や思想、社会情勢から勘案すればそのような考えも違和感は感じられなかったのではないか。	男性_60代
	就職するとき、仕事よりも結婚して経済的に安定した方が幸せになれると、父親から言われた。	女性_60代
母親	特に母親が、女性はいくら頑張っても限界があるので経済的に安定したパートナーと結婚した方が良いと言っていた。	男性_40代
	母親が専業主婦なので、父親のようなお金に余裕のあるパートナーを見つけると今のような生活ができると言われたことがある。	女性_20代
男性の知人・友人	友達が女性は結婚したら働かなくて良いと言っていた。	男性_30代
女性の知人・友人	女性の幸せはお金持ちと結婚することだと言っている女性がいた。	男性_60代
	高校生のときに友人と将来の話をしているとき、女性は就職しても賃金が低いからいずれは結婚しなければならない、という話になった。	女性_30代
配偶者・パートナー	男性が仕事をして家庭をささえるべきであるとパートナーにいわれる。	男性_30代
女性の親戚	祖母にしっかりと収入のある男性に養って貰いなさいと言われた。	女性_30代
男性の親戚	学生の頃ですが、親戚の男性に『女性の人生の目標は、結婚して子供を作って家庭を築いて幸せになることだ』と言われたことがある。	女性_60代
メディア	ドラマ等の描写で、結婚している女性がゆとりある生活をしている反面、仕事をしている女性を面白く表現するもの	男性_20代
	バブル世代なので、当時のいわゆるトレンディードラマでは金持ちのパートナーとの結婚が楽できる一番の知恵だと頭に刷り込まれてる印象がある。	女性_40代
学校・教師	学校での家庭科の授業で女性の将来について、女性は結婚して家庭を持つことが望ましいという事を先生が言っていた。	男性_20代
	学歴よりも早く結婚してお金に困らない生活をするのが良いと進路相談で言われた。	女性_40代

職場項目における性別役割意識①

- 職場の役割分担に関する項目において、20代男性で「そう思う傾向」が強いものが多くみられる。
- 職場の役割分担に関する項目のうち、「職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ」「男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない」「仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い」「営業職は男性の仕事だ」「女性社員の昇格や管理職への登用のための教育・訓練は必要ない」（次ページも参照）の５項目について、男性のなかでも年代が若いほど、「そう思う傾向」が強い。
- 「男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない」「仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い」は、20代の男女間でも、「そう思う傾向」に大きな差がみられた。

➤20代男性の「そう思う傾向」が強い職場項目のうち、男性で年代が若いほど「そう思う傾向」が強いものをピックアップ

【職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ】 (%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代 n=977	4.6	15.9
男性_30代 n=1230	3.2	14.2
男性_40代 n=1065	2.3	13.9
男性_50代 n=1083	1.7	13.0
男性_60代 n=1097	1.4	10.8
女性_20代 n=1061	1.8	11.6
女性_30代 n=1094	2.5	9.4
女性_40代 n=1070	1.4	10.1
女性_50代 n=1075	1.0	7.6
女性_60代 n=1084	0.7	8.9

【男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない】 (%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代	4.7	13.5
男性_30代	3.4	12.8
男性_40代	2.2	14.2
男性_50代	1.9	13.7
男性_60代	1.2	10.4
女性_20代	1.9	7.8
女性_30代	2.8	7.4
女性_40代	2.1	8.7
女性_50代	1.1	8.0
女性_60代	0.9	6.2

【仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い】 (%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う
男性_20代	4.4	14.5
男性_30代	3.7	13.0
男性_40代	2.8	14.3
男性_50代	2.8	13.9
男性_60代	1.9	11.2
女性_20代	1.3	8.1
女性_30代	2.1	7.8
女性_40代	2.2	9.8
女性_50代	1.2	8.5
女性_60代	0.8	9.4

■そう思う ■どちらかといえばそう思う

職場項目における性別役割意識②

（参考）性別役割を言ったり、言動を感じさせた人

男性_20代		**職場項目 １７項目中**
母親	1位にあげられた項目数	6項目
父親	1位にあげられた項目数	5項目
男性の知人・友人	1位にあげられた項目数	5項目
男性の職場の上司	1位にあげられた項目数	5項目

※同率1位あり

※P28,P29でピックアップしている項目及び「同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ」の6項目で、20代男性の「そう思う傾向」が強い。

別添資料１＜全項目の男女別スコア【意識】＞

性別役割意識　性別

(%)

項目	男性計(n=5452)	女性計(n=5384)
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	48.7	44.9
女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	28.6	27.2
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	34.0	21.5
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	28.4	21.6
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	30.4	17.9
家事・育児は女性がするべきだ	27.3	20.7
共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	24.9	20.3
男性であればいい大学を出て出世を目指すべきだ	24.4	19.4
結婚したら姓を変えるのは女性であるべきだ	24.2	16.7
家を継ぐのは男性であるべきだ	25.4	14.1
自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ	19.9	19.2
親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	22.7	16.2
ＰＴＡには、女性が参加するべきだ	22.9	13.2
学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いている	15.7	10.6
実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	16.8	8.8
男性が洗濯物を干すのはみっともない	11.9	8.2
女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない	13.0	7.0
育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.8	33.2
組織のリーダーは男性の方が向いている	26.1	20.9
大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	23.1	20.9
受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	24.1	18.3
仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる	22.9	16.4
職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	22.2	15.8
仕事で成功していても、結婚をしていない女性は何かが足りないと感じる	20.4	14.9
転勤は男性がするものだ	18.9	13.4
事務作業などの簡単な仕事は女性がするべきだ	17.3	14.8
男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ	18.7	9.5
同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ	18.1	9.9
女性の上司には抵抗がある	17.7	10.1
職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ	16.1	11.0
仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い	16.5	10.3
営業職は男性の仕事だ	14.6	10.6
男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない	15.6	9.4
女性社員の昇格や管理職への登用のための教育・訓練は必要ない	13.3	9.0
女性には女性らしい感性があるものだ	45.7	43.1
女性は感情的になりやすい	35.3	37.0
女性はか弱い存在なので、守られなければならない	33.1	23.4
男性は人前で泣くべきではない	28.9	17.6
男性より女性の方が思いやりがある	25.8	16.5
男性は気を遣う仕事やきめ細やかな作業は向いていない	19.1	19.0
女性は論理的に考えられない	20.8	14.8

（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の合計スコア）

領域ごとに全体値の高い順に並べ替え

別添資料2＜全項目の男女別スコア【経験】＞

性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験　性別

(%)

領域	項目	【男性】直接受けた割合 n=5452	【女性】直接受けた割合 n=5384	【男性】間接的に受けた割合 n=5452	【女性】間接的に受けた割合 n=5384
家庭・コミュニティ領域	家事・育児は女性がするべきだ	8.5	15.2	20.2	28.9
家庭・コミュニティ領域	男性が洗濯物を干すのはみっともない	4.0	5.9	11.4	13.9
家庭・コミュニティ領域	家を継ぐのは男性であるべきだ	10.2	13.5	18.0	21.7
家庭・コミュニティ領域	男性は結婚して家庭をもって一人前だ	12.5	13.5	18.5	20.4
家庭・コミュニティ領域	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	6.6	13.1	15.8	19.9
家庭・コミュニティ領域	結婚したら姓を変えるのは女性であるべきだ	6.1	10.3	16.0	20.1
家庭・コミュニティ領域	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	12.4	14.8	19.1	22.1
家庭・コミュニティ領域	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	7.7	10.6	16.7	20.1
家庭・コミュニティ領域	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	6.0	11.7	16.3	23.2
家庭・コミュニティ領域	学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いている	3.9	5.4	11.8	14.5
家庭・コミュニティ領域	女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない	3.7	6.3	12.1	13.3
家庭・コミュニティ領域	男性であればいい大学を出て出世を目指すべきだ	8.6	9.7	16.9	18.1
家庭・コミュニティ領域	ＰＴＡには、女性が参加するべきだ	4.3	6.4	14.1	17.5
家庭・コミュニティ領域	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	6.0	13.0	17.6	25.0
家庭・コミュニティ領域	自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ	5.2	7.4	13.9	18.8
家庭・コミュニティ領域	実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	5.1	9.5	14.9	22.3
家庭・コミュニティ領域	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	11.3	12.4	21.0	21.4
職場領域	組織のリーダーは男性の方が向いている	6.0	8.2	15.0	19.2
職場領域	大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	5.4	7.9	13.8	18.0
職場領域	事務作業などの簡単な仕事は女性がするべきだ	5.0	9.2	14.5	20.1
職場領域	職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ	4.3	8.0	13.6	19.6
職場領域	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	5.6	7.8	16.0	19.7
職場領域	男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない	5.4	6.5	14.9	17.8
職場領域	仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い	4.8	5.7	13.7	15.1
職場領域	営業職は男性の仕事だ	4.7	5.2	11.9	13.0
職場領域	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	7.2	14.1	17.7	24.3
職場領域	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	6.4	13.8	16.3	22.9
職場領域	転勤は男性がするものだ	4.9	5.3	12.7	13.6
職場領域	男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ	6.3	5.9	13.9	14.4
職場領域	女性の上司には抵抗がある	4.7	6.6	12.9	14.4
職場領域	同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ	4.4	6.3	12.8	15.9
職場領域	女性社員の昇格や管理職への登用のための教育・訓練は必要ない	3.7	4.2	10.7	11.3
職場領域	仕事で成功していても、結婚をしていない女性は何かが足りないと感じる	5.4	8.8	14.7	18.6
職場領域	仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる	6.9	8.4	15.4	18.2
その他	女性は感情的になりやすい	10.0	17.8	18.8	22.9
その他	女性は論理的に考えられない	6.8	12.5	15.2	18.5
その他	男性は気を遣う仕事やきめ細やかな作業は向いていない	5.5	7.7	13.1	16.3
その他	男性は人前で泣くべきではない	11.1	12.2	16.9	17.3
その他	女性には女性らしい感性があるものだ	9.0	14.1	17.7	19.3
その他	男性より女性の方が思いやりがある	6.1	7.9	14.7	15.0
その他	女性はか弱い存在なので、守られなければならない	10.4	11.5	17.1	19.7